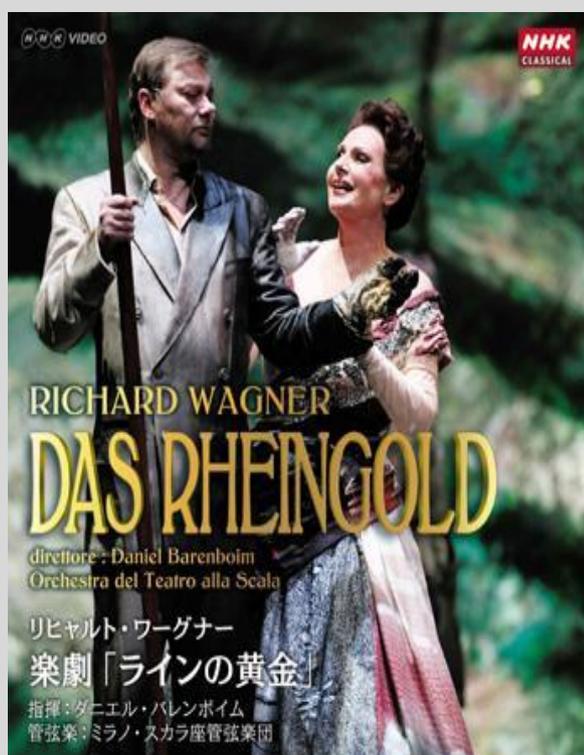


《OPERA鑑賞会 第7回》

ラインの黄金

リヒャルト・ワーグナーが1854年に創作した舞台祝祭劇 楽劇『ニーベルングの指環』は上演に4晩を要し、演奏時間約15時間の舞台芸術として歴史上、最大の作品です。ラインの黄金はその長大な物語の発端、のちの展開を理解するためにも見逃せません。

カシアス演出、バレンボイム&スカラ座(2010~2013)



現代屈指のワーグナー指揮者として数多くの上演をおこなってきたバレンボイムが、ワーグナー・イヤーに完遂させたのが、スカラ座で2010年から2013年にかけておこなった『ニーベルングの指環』でした。

ギー・カシアスの色彩美に富む演出のもと、ランス・ライアン、ニナ・ステンメ、テリエ・ステンスヴォルトなど定評あるワーグナー歌手たちが高水準な歌唱を展開、現在のスカラ座管弦楽団の力量の高さもあって手応えある内容に仕上がっています。

楽劇とはワーグナーが創始したオペラの一形式。旧来のアリア偏重のオペラに対して、音楽と劇の進行を緊密にし融合を図ったもの。ライトモチーフ、無限旋律などの技法を特色とします。

配役 / ヴォータン / ルネ・パーベ
ローゲ / シュテファン・リュウガマー
アルベリヒ / ヨハネス・マルティン・クレンツル

ミラノ・スカラ座管弦楽団 ダニエル・バレンボイム(指揮) 演出:ギー・カシアス 振付:シディ・ラルビ・シェルカウイ



我孫子オーディオファンクラブ (AAFC) 分科会へのご案内 (会員による自主講座)

日時 / 2月11日(日) 13:30~15:45

場所 / 久寺家近隣センター 多目的ホール

発表者 / 清水 俊一

参加自由・入場無料

問い合わせ / 090-5422-5479 脇田 <http://www.aafc.jp/>